

鹿児島県立短期大学の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

本学の目的に定めるカリキュラムを履修し、卒業に必要な所定の単位を取得し、次のいずれの能力をも備えた学生に対し、卒業を認定し、短期大学士の学位を授与します。

1. 豊かな教養と職業又は实际生活に必要な能力を有している
2. 社会情勢の変化に的確に対応できる課題探求・解決能力を有している
3. 地域社会の発展に寄与する能力を有している

この考えに基づき、学科・専攻においては以下の学位授与方針を持っています。

<文学科>

日本語日本文学専攻においては、『日本語学、日本文学、中国文学、日本語教育を学ぶことを通して、日本語に関する知識と表現力、文学を深く解釈し鑑賞する能力、日本や東アジアの社会と文化に関する知識と理解を有し、多様化した地域社会で活躍できる人材』、**英語英文学専攻**においては、『高い英語コミュニケーション力と豊かな教養を持つ、多様化した国際社会に対応できる人材』の育成を図り、本学学則に定める卒業要件に必要な年数以上在学し且つ単位を修得した学生を、次に掲げる『学生が卒業までに身につけるべき能力』を備えたものとして、文学科にあつては学位『短期大学士（文学）』を授与します。

学生が卒業までに身につけるべき能力

文学科【日本語日本文学専攻】

1. 日本、中国、郷土の文学・言語・文化、社会事情を幅広く理解し、グローバル時代における共存社会の諸問題に興味・関心を持ち、意見を述べることができる。
2. 日本語学、日本語教育学、日本文学、中国文学、地域文学について幅広く理解し、言語に対する知識と表現力を持ち、文学を広く深く解釈し鑑賞することができる。
3. 他国の文学・文化に興味・関心を持ち、文化の多様性を理解して日本を相対的に捉え、地域社会に貢献することができる。

文学科【英語英文学専攻】

1. 自らの考え方や視点を相対的に捉えて、多様化した社会において他者とコミュニケーションができる。
2. 総合的な英語運用能力を有し、「読む・書く・聴く・話す」の各スキルにおいて効果的なコミュニケーションができる。
3. 英語に関連する専門分野（英語コミュニケーション、英語学、英語文学、異文化理解）に関する知識・教養を活かして、主体的に考えられる。

<生活科学科>

食物栄養専攻においては、『1 食生活や健康に幅広い関心があり、「食生活を科学する」ことに興味を持ち、自ら学習し追究する意欲のある人材』、『2 食生活をより良い方向へ支援するための専門

的知識と技術を修得し、栄養士としての実践力を持つ人材』、**生活科学専攻**においては、『1 生活を科学的に理解し、質の高い生活を実現するために、目標を設定して具体化するデザインの視点を学ぶことができる人材』、『2 科学的方法やデザイン力でより良い生活環境を創造することができる人材』の育成を図り、本学学則に定める卒業要件に必要な年数以上在学しかつ単位を修得した学生を、次に掲げる『学生が卒業までに身につけるべき能力』を備えたものとして、生活科学科にあつては学位『短期大学士（生活科学）』を授与する。

学生が卒業までに身につけるべき能力

食物栄養専攻

1. 栄養士として、食物及び食生活についての幅広い専門的知識を身につけ活用できる。
2. 専門的知識を活用して、人々の健康を維持増進するための支援ができる。
3. 協調性やコミュニケーション能力を身につけ地域社会に貢献できる。

生活科学専攻

1. 身の回りにある事象全般に興味を持ち、生活を豊かにするデザイン力を実践できる。
2. 地域の歴史や環境に根ざした住居や建築物をデザインできる。
3. 社会環境に調和し、身体に適した衣生活を実践できる。

〈商経学科〉

経済専攻においては、『経済・社会の理論を学び、地域社会及び産業の分析を通して、地域の課題を発見する能力、課題解決の意欲と能力を有し、地域経済の発展に寄与できる基礎を備えた人材』、**経営情報専攻**においては、『経営及び組織の理論を学び、会計・情報処理の技能修得を通して、ビジネスを企画・管理する意欲と能力を有し、地域産業の発展に寄与できる基礎を備えた人材』、**第二部商経学科**においては、『広く世界、日本、地域の経済・社会と企業の構造と運動を研究し、情報処理の技法習得を通して、柔軟な思考力と企画力、そして豊かな人間関係の構築力を有し、地域活性化のために活躍できる基礎を備えた人材』の育成を図り、本学学則に定める卒業要件に必要な年数以上在学し且つ単位を修得した学生を、『学生が卒業までに身につけるべき能力』を備えたものとして、商経学科にあつては学位『短期大学士（商経学）』を授与します。

学生が卒業までに身につけるべき能力

経済専攻

1. 地域経済から国際経済・法学まで幅広く学び、身近な生活を地域社会やグローバル社会と結びつけて考えることができる。
2. 地域社会の動きを把握し、同時に産業の分析ができる。
3. 地域の課題を発見し、課題解決のための方策を考え出すことができ、最終的には地域社会に貢献できる。

経営情報専攻

1. 経営及び組織の理論、会計そして情報処理について学び、企業活動などを分析することができる。
2. 経営の知識と IT や会計の技能を駆使して、企画・管理・運営をおこなうことができる。
3. 会社や組織の社会的価値を向上させると同時に、積極的にそれらの組織に貢献できる。

第二部商経学科

1. 経済学、法学、地域経済、国際経済、経営、会計、情報処理など幅広い分野について勉強し、地域社会の状況を把握し、地域の問題を把握できる。
2. 多様な年齢層とバックグラウンドをもつ学生の学びの場を活かして、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけることができる。
3. 地域活性化、もしくはすでに働いている場で即戦力として貢献できる。